

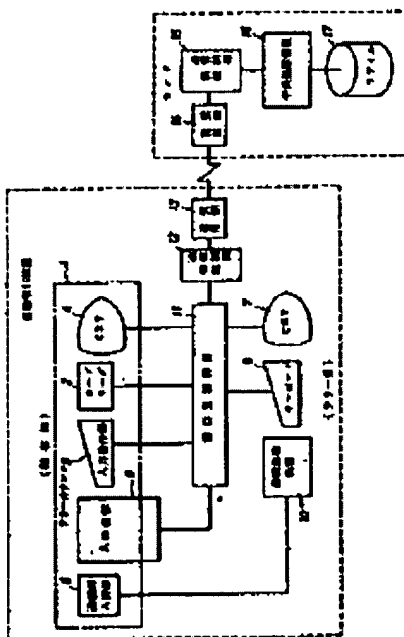
ACCOUNT DESIGNATING SYSTEM BY IDENTIFICATION CARD

Patent number: JP61253580
Publication date: 1986-11-11
Inventor: ABE TADAO; KAMIGUCHI YOSHIAKI
Applicant: OKI ELECTRIC IND CO LTD
Classification:
- International: G07D9/00; G07D9/00; (IPC1-7): G06F15/30; G07D9/00
- european:
Application number: JP19850093547 19850502
Priority number(s): JP19850093547 19850502

Report a data error here

Abstract of JP61253580

PURPOSE: To enable a customer to perform the transactions of all his/her accounts just with a single sheet of an identification ID card, by extracting all account numbers of the customer out of a file and sending them to an automatic transaction equipment through a central processor. **CONSTITUTION:** The identification number, the key account number, etc. of an ID card are read by a card reader 2. The identification number supplied through an input operation part 5 is collated with the identification number read at a window main control part 11. While the key account number is sent to a center via a communication controller 12 and a transmitter/receiver 13. A central processor 16 extracts all accounts numbers of a customer out of a file 17 via a transmitter/receiver 14 and a communication controller 15 and displayed on a customer CRT 4 and a teller CRT 7 together with the account names and the item numbers. An item number corresponding to the account number used for transaction is supplied through the part 5 for designation of an account. Then various processes including the processing of a bankbook inserted through a bankbook slot 6, the reception/payment of cash, etc. are carried out by a cash reception/payment machine 9, a bankbook processor 10, etc.



Data supplied from the *esp@cenet* database - Worldwide

BEST AVAILABLE COPY

⑩ 日本国特許庁(JP)

⑪ 特許出願公開

⑫ 公開特許公報(A)

昭61-253580

⑬ Int.Cl.⁴

識別記号

庁内整理番号

⑭ 公開 昭和61年(1986)11月11日

G 06 F 15/30
G 07 D 9/00

8219-5B
E-8109-3E

審査請求 未請求 発明の数 2 (全6頁)

⑮ 発明の名称 IDカードによる口座指定方式

⑯ 特 願 昭60-93547

⑰ 出 願 昭60(1985)5月2日

⑱ 発 明 者 安 部 忠 男 東京都港区虎ノ門1丁目7番12号 沖電気工業株式会社内
⑲ 発 明 者 上 口 良 明 東京都港区虎ノ門1丁目7番12号 沖電気工業株式会社内
⑳ 出 願 人 沖電気工業株式会社 東京都港区虎ノ門1丁目7番12号
㉑ 代 理 人 弁理士 金 倉 喬 二

明 細 書

1. 発明の名称

IDカードによる口座指定方式

2. 特許請求の範囲

1. 金融機関等の顧客が1人で複数の口座を持っている場合、当該顧客が金融機関等から発行される自動取引装置用のカードで入出金等の取引を行うときの口座を指定する方式であつて、

カードリーダー、顧客用表示器、顧客が取引に必要な情報を入力するための入力操作部、及び自動取引に必要な他の機構を有する、またはこれらに加えてテラー用表示器、キーボード等を有する自動取引装置と、

該自動取引装置に中央処理装置を介して接続されたファイルとを備え、

該ファイルにすべての顧客の口座番号を顧客別に記憶させると共に、金融機関から複数の口座を持つ顧客に発行するカードをIDカードとし、かつ前記複数の口座のうちの1つの口座の口座番号を代表口座番号として、この口座番号

と暗証番号等を前記IDカードに記録しておき、取引を行う際、顧客のIDカードに記録された暗証番号と代表口座番号等を前記カードリーダーで読取り、読取った暗証番号を入力操作部から入力された暗証番号と照合することにより本人確認された場合、自動取引装置から中央処理装置に前記代表口座番号を送つて、該中央処理装置により当該顧客が持つすべての口座番号をファイルより抽出し、抽出した口座番号すべて前記顧客用表示器とテラー用表示器の一方または両方に表示して入力操作部またはキーボードにより取引に使用する口座番号を指定することを特徴とするIDカードによる口座指定方式。

2. 金融機関の顧客が1人で複数の口座を持っている場合、当該顧客が金融機関から発行される自動取引装置用のカードで入出金等の取引を行うときの口座を指定する方式であつて、

カードリーダー、顧客用表示器、顧客が取引に必要な情報を入力するための入力操作部、及び自動取引に必要な他の機構を有する、またはこ

れらに加えてテラー用表示器、キーボード等を有する自動取引装置と、

該自動取引装置に中央処理装置を介して接続されたファイルとを備え、

該ファイルにすべての顧客の口座番号を顧客別に記憶させると共に、金融機関から複数の口座を持つ顧客に発行するカードをIDカードとし、かつ前記複数の口座のうちの1つの口座の口座番号を代表口座番号として、この口座番号と暗証番号等を前記IDカードに記録しておき、

取引を行う際、顧客のIDカードに記録された暗証番号と代表口座番号等を前記カードリーダーで読取り、読取った暗証番号を入力操作部から入力された暗証番号とを照合することにより本人確認された場合、自動取引装置から中央処理装置に前記代表口座番号を送つて、該中央処理装置により当該顧客が持つすべての口座番号をファイルより抽出し、抽出した口座番号のうちまず代表口座番号を前記顧客用表示器とテラー用表示器の一方または両方に表示し、代表口

テラーという)窓口に設置されており、この自動取引装置で入出金等の取引を行うために銀行は顧客に対して通帳の他、CDカードを発行しているが、このCDカードは周知のように1枚で前記口座のうちの1つ、つまり1人の顧客の1つの口座番号と対応するものである。

〔発明が解決しようとする問題点〕

従つて、従来は複数の口座を持つ顧客のすべての口座の入出金取引をCDカードで行えるようにするには、その顧客が持っている口座と同数のカードが必要となり、これによつて種々の問題が生じていた。

例えば、銀行等の金融機関側からするとカードの発行枚数が多くなり、また顧客側においては各カード毎の暗証番号を覚えておかなければならず、かつカードの誤挿入つまり例えば普通口座のカードをカードリーダーの挿入口へ挿入すべきところを他の口座のカードを挿入すること等がある。

本発明はこのような問題を解決するためになされたもので、1人の顧客が複数のCDカードを持

座番号で取引を行わないときは入力操作部またはキーボードの操作により他の口座番号を前記表示器に表示して、取引に使用する口座番号を指定することを特徴とするIDカードによる口座指定方式。

3. 発明の詳細な説明

〔産業上の利用分野〕

本発明は1人の顧客が持つ複数の口座のうちの1つをIDカードにより任意に指定して入出金等の取引を行うことを可能にするIDカードによる口座指定方式に関するものである。

〔従来の技術〕

金融機関特に銀行においては、顧客との取引がその科目に応じて項目分けされており、その項目としては一般に知られているように普通口座、定期口座、総合口座等があるが、これらの口座のうち1人の顧客が複数の口座を持つことも多々ある。

一方、銀行では窓口業務の省力化等を目的として、顧客自身の操作により入出金取引を行うことができる自動取引装置が店頭や店内の係員(以下

つことにより生じる諸問題を解決することができるとして新規なIDカードによる口座指定方式を実現することを目的とするものである。

〔問題点を解決するための手段〕

上述した目的を達成するため、本発明は従来のCDカードに代えて、複数の口座を持つ顧客の暗証番号、代表口座番号等を記録したIDカードを用い、また店頭やテラーのいる窓口等に設置された自動取引装置と接続した中央処理装置のファイルには顧客が持つ口座番号を顧客別にすべて記憶させておき、前記IDカードを自動取引装置のカード挿入口より挿入してカードリーダーにより暗証番号や口座番号等を読取る。そしてこの読取られた暗証番号と顧客が自動取引装置の入力操作部で入力した暗証番号とを照合することにより本人確認された場合、代表口座番号を中央処理装置へ送信し、中央処理装置で当該顧客が持つすべての口座番号をファイルより抽出して自動取引装置に送るようにしたものである。

〔作用〕

上述した手段によれば、中央処理装置から送られてきた当該顧客の口座番号を2通りの手順で指定して、以後の取引処理を行うことができる。

その1つは当該顧客が持つすべての口座番号、顧客用の表示器または顧客用とテラー用の両方の表示器に表示し、顧客が自ら前記入力操作部で口座番号を指定するか、あるいは顧客の依頼によりテラーがキーボードにより口座を指定する。

また、別の1つとして当該顧客が持つ口座番号のうち、IDカードに記録された代表口座番号を前記表示器に表示し、この代表口座番号で取引を行う場合は続けて以後の取引処理を顧客あるいは顧客の依頼によりテラーが行い、他の口座番号で取引を行う場合は、他の口座引出しの操作を顧客あるいはテラーが行って表示器に当該顧客の他の口座番号を写し出し、任意の口座を指定するものである。

従つて、これによれば複数の口座を持つ顧客は1枚のIDカードによりすべての口座での入出金取引が可能となり、複数枚のカード発行に伴う諸

送受信機13を含めて店舗側の自動取引装置が構成されている。

14は前記送受信機13に接続されたセンタ側の送受信機で、この他センタには送受信機14に通信制御装置15を介して接続された中央処理装置16と該中央処理装置16に接続されたファイル17が備えられている。

本実施例において前記ファイル17にはすべての顧客の口座番号が顧客別に記憶されており、その一例を第4図に示す。

この図に見られるように複数の口座を持つ顧客Aの場合、その複数の口座のうちのある1つの口座の番号、例えば普通口座の口座番号を代表口座番号として、この代表口座番号と共に他の口座番号例えば定期口座の番号がまとめて記憶されている。

また、本実施例において銀行から顧客Aに発行するカード、つまり複数の口座を持つ顧客に発行するカードはID登録したIDカードとし、このIDカードには暗証番号や代表口座番号の他、顧

問を解決することができる。

[実施例]

以下図面を参照して実施例を説明する。

第1図は本発明のIDカードによる口座指定方式の第1の実施例を示すフローチャート、第2図は本発明を実施するシステムの機能ブロック図、第3図はテラーカウンタに構成された自動取引装置の一例を示す斜視図である。

まず第2図及び第3図において、1は店舗内の窓口に設けられたテラーカウンタで、このテラーカウンタ1上の顧客側にはカードリーダー2のカード挿入口3、顧客用表示器(以下CRT)4、ピンパッドまたはタッチパネル等の入力操作部5、及び通帳挿入排出口6等が設けられており、またテラー側にはテラー用表示器(以下CRT)7及びキーボード8等が設けられていて、更にこの他入出金機9、通帳処理装置10等の自動取引に必要な機器が所定の位置に配置されている。

そしてこれらの機器類は窓口主制御部11に接続され、この窓口主制御部11と通信制御装置12、

客の氏名、店番等を磁気記録等により記録する。

次に第1図のフローチャートを参照して口座指定手順を述べる。

まず、顧客がIDカードをカード挿入口3から挿入すると、このIDカードの暗証番号及び代表口座番号等がカードリーダー2により読取られ、顧客情報として窓口主制御部11に送られる。

続いて顧客が入力操作部5により暗証番号を入力すると、入力された暗証番号は窓口主制御部11に送られて前記カードリーダー2で読取られた暗証番号と照合され、これにより本人確認が行われる。

ここで、入力された暗証番号と読取られた暗証番号が一致しなかつた場合は、CRT4を通じて再度暗証番号の入力を顧客にうながす。

暗証番号が一致して本人と確認された場合は、カードリーダー2で読取られた代表口座番号が前記窓口主制御部11から通信制御装置12及び送受信機13を介してセンタに送られる。

センタでは送受信機14及び通信制御装置15を介して中央処理装置16が顧客からの代表口座

番号を受取り、これによつて中央処理装置16は当該顧客が持つすべての口座番号をファイル17から抽出し、通信制御装置15、送受信機14、13、及び通信制御装置12を通じて窓口主制御部11に送信する。

こうして窓口主制御部11に送られてきた口座番号は顧客用のCRT4または該CRT4とテラー用のCRT7に口座名及びその項目番号と共に表示される。その表示例を第5図に示す。

ここで顧客はCRT4に写し出された口座番号を見て、取引に使用する口座番号に対応した項目番号を入力操作部5により入力して口座を指定するか、または前記項目番号をテラーに伝えて、テラーのキーボード8からの入力により口座を指定する。

以後は、顧客自身あるいは顧客から口頭で依頼を受けたテラーの操作により、通帳挿入排出口6から予じめ挿入された通帳の記帳処理や、現金の入出金等、入出金取引に伴う各処理が入金金機9や通帳処理装置等によつて行われる。

従つて、顧客あるいはテラーがCRT4または7を見て入力操作部5あるいはキーボード8により口座を指定する。

尚、上述した各実施例では暗証番号の照合を窓口制御部で行うものとして説明したが中央処理装置16で行うことも無論可能である。

また、自動取引装置としてはテラーカウンタ1に設置されるものの他、店頭や店舗外に設置される所謂ATMつまりテラー用のCRT7やキーボード8を含まない装置でもよく、この場合は顧客のみの操作で口座の指定を行えばよい。

更に、上述した実施例では、1人の顧客が複数の口座を持つ場合について説明したものであるが、単一の口座しか持たない顧客は従来と同様にCDカードで自動取引装置を利用することが可能である。つまり本発明は従来から使用されているCDカードのシステムを利用して実施することができる。

〔発明の効果〕

以上説明したように本発明は、複数の口座を持

第6図は本発明のIDカードによる口座指定方式の第2の実施例を示すフローチャートである。

この第2の実施例は、その装置構成及びIDカードを使用する点については第1の実施例と同様にあるが、口座指定の手順及びその制御が以下の点で第1の実施例と異なっている。

すなわち、第6図において本人確認された顧客の口座番号がファイル17から抽出され、窓口主制御部11に送られるまでの手順は第1図の場合と同様であるが、次のステップではCRT4または該CRT4と7に当該顧客の代表口座番号のみが表示される。

ここで顧客がこの代表口座番号の口座を使用して取引を行う場合は、顧客自身あるいはテラーの操作により以後の取引処理が行われる。

一方、代表口座番号以外の口座番号を使用する場合は、入力操作部5あるいはキーボード8に設けられている他の口座引出しのためのキー等を押すことにより、CRT4と7に当該顧客の口座番号が口座名及び項目番号と共に写し出される。

つ顧客のIDカードに記録された暗証番号及び代表口座番号等の情報を自動取引装置のカードリーダーで読取り、入力操作部により顧客が入力した暗証番号とカードリーダーで読取られた暗証番号の照合により両暗証番号が一致して本人確認された場合、前記代表口座番号を中央処理装置に送り、これにより中央処理装置がファイルから抽出した当該顧客のすべての口座番号をCRTに写出し、そのうちの取引に使用する任意の口座番号を顧客あるいは顧客に依頼されたテラーにより指定するようにしているため、1枚のカードで顧客は自分が持っている口座すべてについて取引を行うことが可能になる。

従つて、銀行等の金融機関側では顧客に発行するカード枚数を削減でき、また顧客においては1枚のカードですべての口座の取引を行うことができると共に、暗証番号も1つ覚えるだけで済み、かつカードの誤挿入もなくなる等、従来1人の顧客に対して複数枚のカードを発行することによつて生じていた種々の問題を解決できるという効果

が得られる。

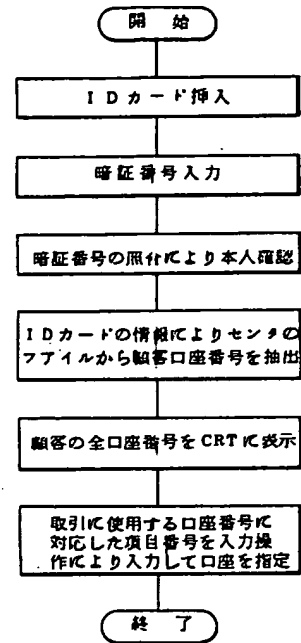
4. 図面の簡単な説明

第1図は本発明のIDカードによる口座指定方式の第1の実施例を示すフローチャート、第2図は本発明を実施するシステムの機能ブロック図、第3図は本発明で用いる自動取引装置の一例を示す針视图、第4図は本発明における顧客口座番号のファイル例を示す説明図、第5図は本発明におけるCRT表示例を示す説明図、第6図は第2の実施例を示すフローチャートである。

2…カードリーダー 3…カード挿入口 4…顧客用表示器(CRT) 5…入力操作部 7…テラー用表示器(CRT) 8…キーボード 11…窓口制御部 16…中央処理装置 17…ファイル

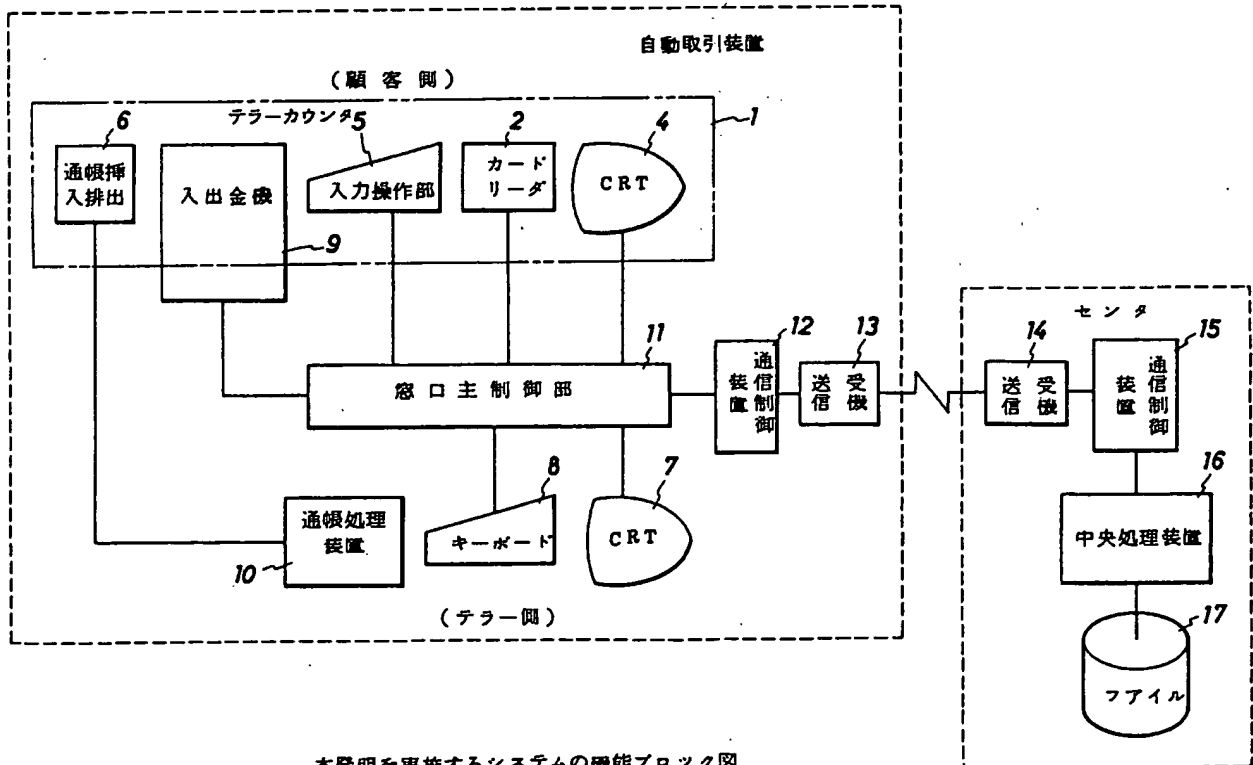
特許出願人 沖電気工業株式会社

代理人 弁理士 金 倉 喬 二



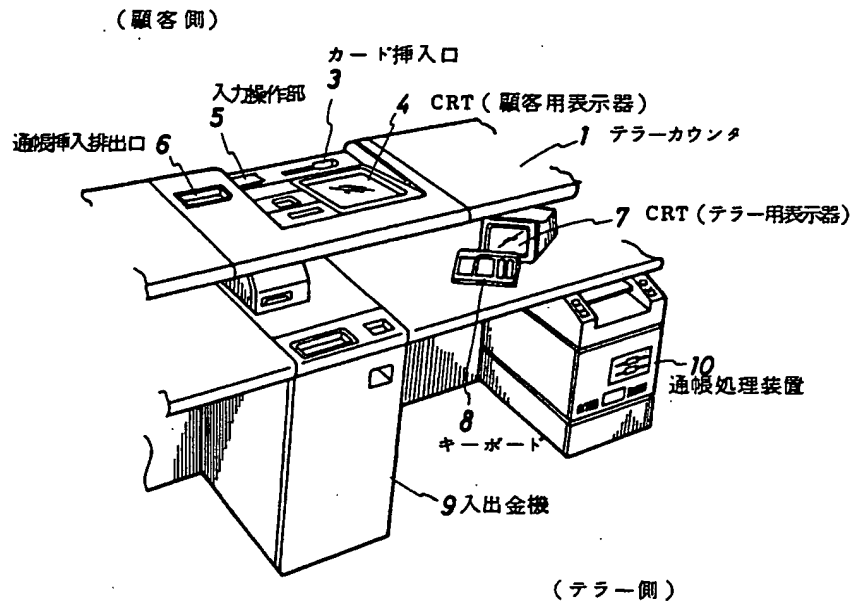
第1の実施例のフローチャート

第 1 図



本発明を実施するシステムの機能ブロック図

第 2 図



自動取引装置の一例を示す斜視図

第 3 図

顧客 A	代表口座番号
	定期口座番号
	総合口座番号
顧客 B	代表口座番号
	定期口座番号
	総合口座番号

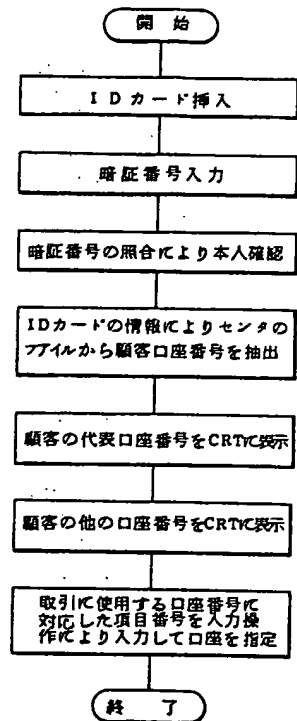
顧客口座番号のファイル例

第 4 図

口座名		口座番号
項目番号	1. 普通	1331430
	2. 定期	1623610
	3. 総合	1751230

CRT 表示例

第 5 図



第 2 の実施例のフローチャート

第 6 図

**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning
Operations and is not part of the Official Record**

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- ☐ BLACK BORDERS
- ☐ IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- ☐ FADED TEXT OR DRAWING
- ☒ BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING
- ☐ SKEWED/SLANTED IMAGES
- ☐ COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS
- ☐ GRAY SCALE DOCUMENTS
- ☐ LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT
- ☐ REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY
- ☐ OTHER: _____

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.